

はじめに

地球にある水は14億キロ立方メートルとされています。そのうち97.5%は海水で淡水はわずか2.5%に過ぎません。ただ、この淡水のほとんどが北極と南極の氷であり、私たちが使える水は0.8%しかありません。

また、地球にある水は、降った雨が川や地下水の流れとなり、その一部が水道～市民～下水道へと流れて、また川から海へと流れ、そして川や海へ注がれた水は水蒸気となって、また雨となる循環を繰り返しています。

私たちの生活になくってはならない水ですが、地球の水資源はこのように貴重であること、水を使うことは川や海を汚すこと、そして水は気体となって地球全体に影響を与えることにもつながっている、ということをもつながることが大切です。

東大阪市上下水道局では、市民生活に必要な水の供給～排水処理だけでなく、市民生活の安全を守る浸水対策などの水の総合施策を、効率的、効果的、安定的に推進するための方向を示す「標(しるべ)」として、この「上下水道基本構想」を策定いたしました。

上下水道事業の基本的な役割としては、「公衆衛生の向上」「災害の防止」「環境の保全」がありますが、これをわかりやすい言葉で言い換えると「常に安全でおいしい水を届ける」「水洗トイレに代表される快適な生活を提供する」「地震や水害などの災害につよまちをつくる」「身近な生活から地球規模までの環境を守る」ことであると言えます。

これらは、時代の要請によってその役割の幅を広げつつありますが、基本的には変わらないものであると考えています。

私たちの生活は水によって支えられていると言っても過言ではありません。この大切な水に携わる事業者として、市民のみならずともに豊かな未来を実現していきたいと考えています。

平成19年(2007年)3月

東大阪市上下水道局長 井上 通弘

◆ 基本構想の構成 ◆

基本理念 …… 1

基本構想について …… 3

役割とあゆみ …… 5

現状の課題と取り組み…… 7

基本方向 …… 11

【 付属資料 】

用語説明 …… 19

基本構想の策定体制 …… 23

意見交換・意見募集について …… 24

あとがき(基本構想と四字熟語) …… 26

上下水道施設案内図 …… 27